

子どもの学習実態・意識の変化は？ 学習ばなれに一定の歯止め。しかし“学習の局所化”が進行

株式会社ベネッセコーポレーション(代表取締役社長兼 CEO: 森本昌義)のシンクタンク、ベネッセ教育研究開発センターでは、2006年6~7月に「第4回学習基本調査」(小・中・高校生の学習意識・実態に関する経年比較調査: 過去1990、1996、2001年に実施)を行いました。
本調査結果は以下のようなものです。

小・中学生ともに、2001年まで一貫して減少していた学校外の平均学習時間(家庭学習、塾、予備校での学習)が、それぞれ5-10分前後増加しており、過去10年あまりにわたり進行していた“学習ばなれ”に一定の歯止めがかかった。ただし、成績別に見ると、成績上位層ほど学習時間が増加しており、下位層の子どもとの格差が拡大している。

一方、高校生の学校外の平均学習時間は、2001年と比較して増加していない。いわゆる進学校に在学する生徒は1990年以降、変化していないのに対して、それ以外の高校に在学する生徒の学習時間は減少傾向にある。この結果、進学校の生徒はよく勉強するが、それ以外の生徒は学習に向かえない“学習の局所化”とも呼べる状況が生まれている。

小・中学生に関しては、授業理解度の上昇が見られるなど、文部科学省が進める一連の政策や学校での基礎学力向上の取り組みが一定の成果を上げたと見られます。しかし、高校生については、大学全入時代を迎えて「進学や受験」が学習の動機になりづらい状況が生まれていると考えられます。

ベネッセ教育研究開発センターでは子どもの学習実態を踏まえ、すべての子どもが一律に進学を目的にした学習をする時代は終わったとの認識の下、定期テストのような短期的目標、受験のような中期的目標だけでなく、その子どもの長い将来・進路を考え「勉強の意味」「学ぶことの楽しさ」を見出せるような学習支援の必要性が今後ますます高まると考えています。

■ 調査概要

【調査テーマ】 学習に関する意識・実態調査(第4回)

【調査対象】 小学5年生 2,726名、中学2年生 2,371名、高校2年生 4,464名対象

いずれも東京都内、地方都市、郡部にてサンプリング。協力校は4回ともほぼ同一

【調査時期・方法】 2006年6~7月、学校通しの質問紙による自記式調査

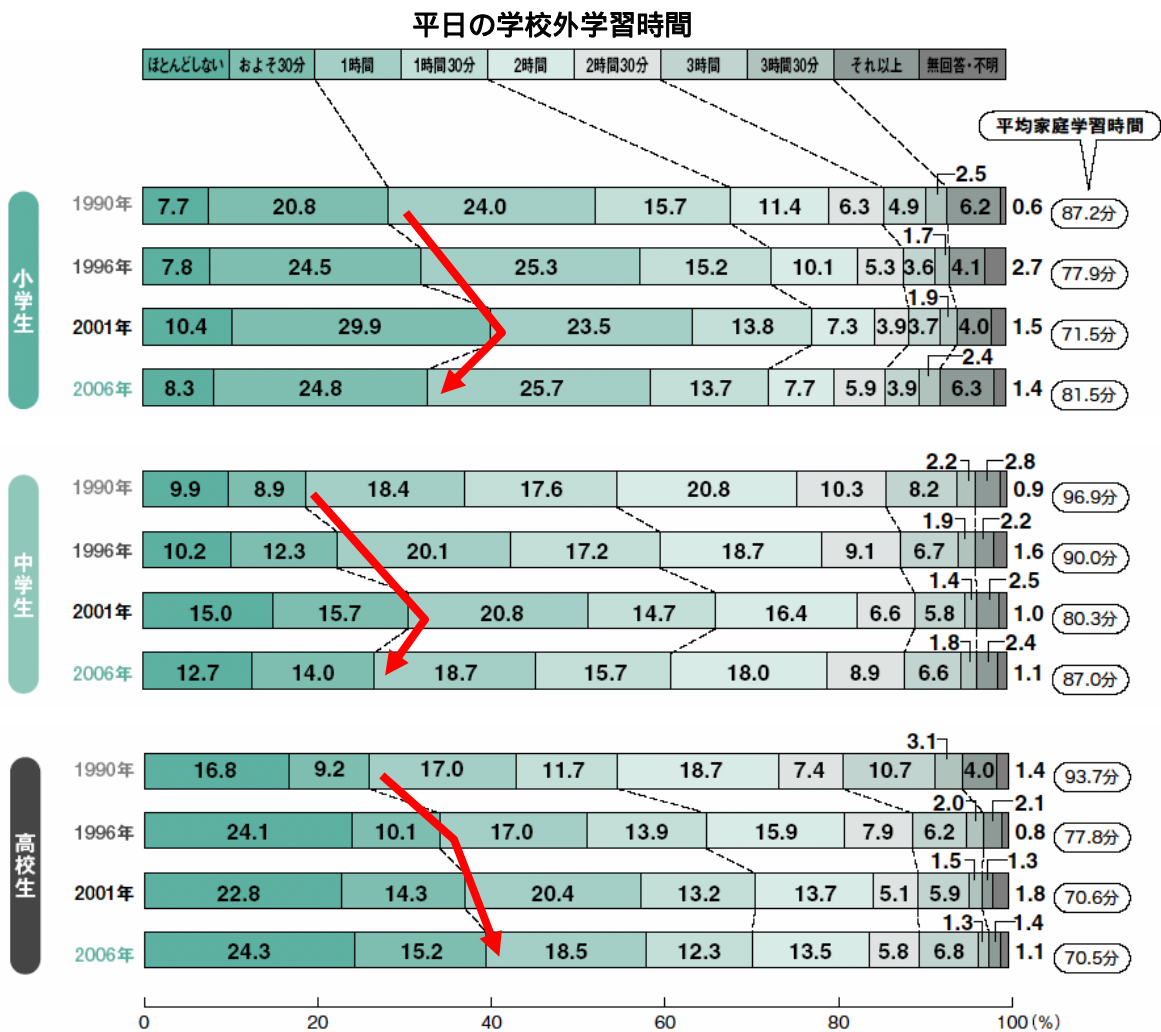
【調査項目】 教科の好き嫌い / 授業の理解度 / 授業の受け方 / 家庭での学習時間 / 家庭学習の頻度 / テスト時間の開始時期 / 希望進路 / 学習上の悩み / 社会観 / テレビの視聴時間 / パソコンの利用 / 本・新聞とのかかわり / 心や体の疲れ

■特徴的な調査結果

学校外での学習時間：小・中学生の家庭での学習時間の減少に歯止め、高校生は変化なし。

- 小学生平均学習時間 81.5 分（2001 年調査比 10 分増）
- 中学生平均学習時間 87.0 分（2001 年調査比約 7 分増）
- 高校生平均学習時間 70.5 分（2001 年調査比 0.1 分減）

【学校外学習時間の増加】



授業の理解度の上昇：「ほとんどわかっている」「わかっている」と答えた割合が

- 小学生ではほぼすべての教科で約 6～12 ポイント上昇（1990 年調査比）
- 中学生・高校生では「国語」「数学」「理科」の理解度が上昇（1990 年調査比）
ただし学校段階が上がるにつれて、理解度は低くなる現象も。

【学校の授業がわかるようになってきている。】

*「ほとんどわかっている」「70%くらいわかっている」と答えた比率

	1990年調査	1996年調査	2001年調査	2006年調査
小学生・国語	62.9%	67.0%	71.2%	70.8%
小学生・算数	62.4%	60.3%	69.1%	73.9%
中学生・国語	45.8%	47.0%	53.4%	52.8%
中学生・数学	46.4%	52.4%	53.5%	57.5%
高校生・国語	37.7%	41.3%	44.9%	47.2%
高校生・数学	34.6%	31.6%	32.6%	39.3%

学習上の悩み：小学生の学習上の悩みは軒並み減少、ただし中・高校生は横ばいまたは増加傾向が見られる。

- 「わかりやすい授業にしてほしい」という項目では、小学生10.3ポイント減、一方中学生9.1ポイント増加、高校生では16.9ポイント増加(1990年調査比)。
- 「どうしても好きになれない科目がある」「上手な勉強の仕方がわからない」が中学生で7割前後と一貫して高い割合であり、1990年調査からほぼ横ばい。

【高校生の悩み】悩みが増加

	1990年調査	1996年調査	2001年調査	2006年調査
わかりやすい授業にしてほしい	34.3%	45.2%	50.5%	51.2%
覚えなければいけないことが多すぎる	56.6%	59.5%	55.8%	58.4%
どうしても好きになれない科目がある	56.5%	58.8%	61.0%	64.9%
上手な勉強の仕方がわからない	61.9%	64.4%	64.2%	66.7%

ご参考

< Benesse®教育研究開発センターの活動 / Benesse®教育情報サイトでの情報提供について >

- Benesse®教育研究開発センター (<http://benesse.jp/berd/>) では、今後も、時代の変化に即したテーマで調査や研究活動を行い、その結果を広く社会に開示することで、さまざまな方々との議論の輪を広げていきたいと考えています。

*「第4回学習基本調査(国内調査)」の詳細についてもこちらのサイトでご確認いただけます。

- 「Benesse®教育情報サイト」(<http://benesse.jp/>)
ベネッセが保有する教育関連の各種データを公開しています。